

一 漢字の読み

次の――線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

1 金沢をより活性化させる試みだ。

2 相手の意図を考えて聞こう。

3 スーパーに売られている野菜の値段が跳ね上がった。

4 浅野川大橋から一キロほど隔てたところに彼女の家がある。

5 心の片隅に残っている。

6 近江町市場では、威勢のよい声が飛び交っている。

二 漢字の書き

次の――線部の言葉を漢字で書きなさい。(送りが必要なならば、付けなさい。)

1 修正すべきところをしてきする。

2 毛糸のぼうしをかぶり、雪かきをした。

3 自分の行いをかえりみる。

4 国際こつけんが求められる。

5 彼女は、親切で優しく、周囲のひょうばんもいい。

6 こんきよを明確にして話そう。

7 そぼくな人柄に好感が持てる。

三 言葉の意味

次の―― 線部の意味に最も合う言葉の意味を一つ選び、記号で答えなさい。

1 いわば澄み切った秋の空のような気分だ。

ア、いうまでもなく
イ、よく一般的に言われている
ウ、たとえてみれば
エ、気のせいか

2 彼のおじさんは、書道の大家です。

ア、その道ですぐれた人
イ、立派な家の持ち主
ウ、全体を広く見わたすこと
エ、このうえもなく強いこと

3 母の表情から、母の悲しい気持ちを子どもたちは察した。

ア、相手の事情や気持ちのおおよそを知る
イ、経験したことを思い出す
ウ、互いに考えを出し合い、話し合う
エ、経験したことを覚えている

4 空襲で、東京は焼け野原と化した。

ア、はっきり見えなくなった
イ、化合して他の物質になった
ウ、すっかり変化して他の状態になった
エ、仕事や命令を与えた

次の「」の意味を表す言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

5 「重々しくて厳かな様子」

ア、きびしい イ、たやすい ウ、ふがない エ、いかめしい

6 「そのものだけが備えていること」

ア、固有 イ、固定 ウ、固執^{しゅう} エ、固持

次の（ ）に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

7 スタートで（ ）をとったが、後半、徐々に挽回^{ばん}している。

ア、暇 イ、後れ ウ、怠^{おこた}り エ、過^{あやま}ち

8 兼六園の雪つりの美しさに目を（ ）。

ア、くらませた イ、盗んだ ウ、こまねいた エ、みはった

次の「」の言葉の使い方として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

9 「面目ない」

ア、責任者なのに遅刻してしまって面目ない。

イ、今年の夏は暑くて動くのも面目ない。

ウ、荒れ地を耕し、面目なく小麦を作った。

エ、これまでの苦勞^{むく}が報^{むく}われて、面目なく感じた。

10 「おそるおそる」

ア、彼女の才能はおそるおそるすばらしく、皆、驚いている。

イ、おそるおそる大雨になるので、わたしは、急いで帰宅した。

ウ、何があるか分からないので、わたしは、おそるおそる部屋に入った。

エ、子どもは成長すると、おそるおそる親離れするらしい。

11

「さしずめ」

ア、わたしの作品は、さしずめすばらしい作品だとほめられた。
イ、来年の春には、さしずめ合格できるようにがんばりたい。
ウ、その時、さしずめ僕は、うれしいとしか感じていなかった。
エ、去年の旅行は、さしずめ大きな思い出として残っている。

12

「たわいもない」

ア、その作品は印象がすばらしく、たわいもなかった。
イ、たわいもないおしゃべりがとても楽しかった。
ウ、その場所は駅から近く、とてもたわいなかった。
エ、たわいもない参考書は、受験にとっても役立つ。

13

「ついぞ」

ア、思い出の場所に、ついぞ行った。
イ、ついぞ待ちに待ったお正月となった。
ウ、彼は、話しくそうに、ついぞ話した。
エ、その日は、ついぞ通ったことのない道で下校した。

四

漢語・和語・古語・敬語・文法など

1

ほぼ同じ意味を持つ漢語と和語の組み合わせとして、適切でないものをつ選び、記号で答えなさい。

ア、仲間・友
ウ、休暇・休み

イ、情報・知らせ
エ、精神・心

2

ほぼ同じ意味を持つ古語と現代語の組み合わせとして、適切でないものをつ選び、記号で答えなさい。

ア、心うし・残念だ
ウ、わるし・みつともない

イ、をかし・趣がある
エ、あやし・はつきりしない

3 次の()に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

地域の人を講師として学校に招いた講演会で、司会者が講師の方を紹介しました。

「今日の講演会では、Aさんがこの地域に伝わる昔話について、お話を()」。

- ア、おっしゃいます
イ、してくださいます
ウ、申し上げます
エ、していただきます

4 次の文を、文節に分けるといくつになりますか。漢数字で答えなさい。
金沢は伝統文化にあふれている。

5 次のうち、一つの単語でできているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、あの海
イ、練習する
ウ、飛んでいく
エ、白い花

6 次の()に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
このクラスの中では彼女こそ学級会長にふさわしい。

7 次の()に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
犀川と浅野川はどちらもとても魅力的な川だ。

8 次の文に自立語はいくつありますか。漢数字で答えなさい。
兼六園の桜は満開の時期を迎えた。

9

二つの言葉が対義語になっていないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、具体・抽象 イ、自由・平等 ウ、主観・客観 エ、北・南

10

次の——線部の「よく」の意味を一つ選び、記号で答えなさい。

わたしはよく忘れ物をする。

ア、たびたび イ、りっぱに ウ、十分に エ、しっかりと

11

次のAさんとBさんの会話を読み、「そこ」が表すものを一単語で答えなさい。

A「昨日、駅前にできた本屋に行ったよ。」

B「へえ、そこにはまだ行ったことがないんだ。」

12

次の()にあてはまる言葉を一つ選び、記号で答えなさい。

今度の休みは京都に行こうか。() ()奈良に行こうか。

ア、けれども イ、要するに ウ、それとも エ、ところで

13

同訓異字の組み合わせとして誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア、乗る・載る イ、諮る・計る

ウ、勤める・勧め エ、解く・溶く

14

の中に、——線部と同じ接頭語・接尾語が入るものを一つ選び、記号で答えなさい。

再提出

ア、出発 イ、完全 ウ、発達 エ、関心

15

計画性

ア、近代

イ、生産

ウ、事実

エ、屈辱じよく

五

四字熟語・慣用句・ことわざなど

1

次の（ ）にあてはまる漢数字をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

「（ A ）（ 日 ）（ B ）（ 秋 ）

ア、一

イ、十

ウ、百

エ、千

2

次の「 」の言葉の使い方として最も適している文を一つ選び、記号で答えなさい。

「推敲」

ア、推敲は、いろいろな約束があつて開催さいすることが難しい。

イ、人の気持ちを推敲してみよう。

ウ、遠く離れた場所でも、推敲すればより身近に感じられる。

エ、書き上げた文章を推敲しよう。

次の「

」の意味をもつことわざを一つ選び、記号で答えなさい。

3

「人に親切にしておけばいつかは必ず報われる」

ア、一寸の虫にも五分の魂

イ、備えあれば憂うれいなし

ウ、情けは人のためならず

エ、縁の下の力持ち

4

「ほんのわずかなことでも、それが重なり集まると大きなものになる。」

ア、郷に入つては郷に従え

イ、千里の道も一歩から

ウ、のど元過ぎれば熱さ忘れる

エ、ちりも積もれば山となる

次の（ ）に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

5

「前代（ ）」

ア、見文 イ、見聞 ウ、未門 エ、未聞

6

「大同（ ）」

ア、小圃 イ、小意 ウ、小異 エ、小位

7

「（ ）月歩」

ア、日新 イ、日進 ウ、日走 エ、日相

8

「悲惨な光景に思わず、私は（ ）」。

ア、息をのんだ イ、息があつた
ウ、息をこらした エ、息が切れた

9

「それがどんなに（ ）仕事であろうと、父はきつとやりぬくだ
ろつ。」

ア、肩を落とす イ、骨の折れる
ウ、鼻が高い エ、舌を巻く

ここからは、発展コーナーです。(得点には含まれません。)
時間があれば、挑戦してみましよう。

1 次の作品の冒頭部分について、 にあてはまる言葉を、漢字一字で書きなさい。

「つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひて、

にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、

あやしうこそものぐるほしけれ。」

(兼好法師「徒然草」より)

2 次の作品は、「春に」の作者である谷川俊太郎の詩の一節です。() にあてはまる言葉を選び、記号に を付けなさい。(同じ言葉が入ります。)

「) が息をしている

耳たぶのそばで

子どもらの声をのせ

みずうみを波立たせ

() は息をしている

(谷川俊太郎「息」より)

ア、人 イ、空 ウ、風 エ、雨

3 次の言葉の意味として正しいものを一つ選び、記号に を付けなさい。

「一期一会」

ア、茶道で、どの茶会でも一生にただ一度だと考えて、常に客に誠を尽くすべきだという考え

イ、一学期に一度は必ず大事な人に会えるという考え

ウ、一年に一度は必ずよい出会いをいなさいという考え

エ、一年間に会おう人は一人ではないという考え

4

金沢の方言では、感謝の意を表す言葉にいろいろな種類の言い方があります。
感謝の意を伝えていない言葉を一つ選び、記号に を付けなさい。

ア、あんやと イ、ごきみつま ウ、かさだかな エ、きがねなあ

5

「いんぎらあつとなごうなつていきまっしね。」とは金沢の方言ですが、
意味として最も適切なものを一つ選び、記号に を付けなさい。

ア、「ゆつたりと横になって、体を休めていってくださいね。」
イ、「いっぱい話をして、なごやかにしてくださいね。」
ウ、「はつきりと伝えて、もっと仲良くなってくださいね。」
エ、「言いたいことがあったら、長くなってもいいから言いなさいね。」

6

次のことわざの（ ）にあてはまる言葉を、それぞれ漢字で答えなさい。

ア、弘法にも（ ）のあやまり
イ、立て板に（ ）
ウ、へそで（ ）をわかす
エ、笑う門には（ ）来たる
オ、（ ）の手も借りたい
カ、枯れ木も（ ）のにぎわい
キ、住めば（ ）
ク、犬も歩けば（ ）に当たる

次の意味を表す故事成語を一つ選び、記号に を付けなさい。

7

「なんの手がかりもなく、途方に暮れること」

ア、無我夢中 イ、五里霧中 ウ、試行錯誤 エ、暗中摸索

8

「わずかな時間のこと」

ア、一石二鳥 イ、一部始終 ウ、一長一短 エ、一朝一夕

学校番号

組
番

通し番号
番

正答数

50

一 漢字の読み

1	こころみ
2	いと
3	はね
4	へだてた
5	かたすみ
6	いせい

二 漢字の書き

(送りながが必要ならば、
付けなさい。)

1	指摘
2	帽子
3	省みる 顧みる
4	貢献
5	評判
6	根拠
7	素朴

三 言葉の意味

1	ウ
2	ア
3	ア
4	ウ
5	エ
6	ア
7	イ
8	エ
9	ア
10	ウ
11	ウ
12	イ
13	エ

四 漢語・和語・古語・
敬語・文法など

1	ア
2	エ
3	イ
4	四
5	イ
6	彼女こそ
7	魅力的な
8	五
9	イ
10	ア
11	本屋
12	ウ
13	ウ
14	ア
15	イ

五 四字熟語・慣用句・
ことわざなど

1 A	ア
1 B	エ

両方正答で丸一つ。

2	エ
3	ウ
4	エ
5	エ
6	ウ
7	イ
8	ア
9	イ

「四 漢語・和語・・・」の
設問4と設問8は、「漢
数字で答えなさい。」と
出題されているので、
「4」「5」は誤答。